

# 中小企業あきた

- 1 県内中小企業の経営状況等について懇談 ..... 1  
～野見山浩平日本銀行秋田支店長が来会～
- 2 オール秋田による奥羽・羽越両新幹線の事業化を目指す ... 2  
～秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会設立総会が開催～
- 3 「新ものづくり・新サービス展」で成果事例を発表 ..... 2

10  
OCTOBER.2016

- 組合・企業探訪..... 3
- 中小企業組合等支援施策情報..... 3
- 景況レポート 8 月分 ..... 6

- 話題の広場  
中央会事業より..... 8
- アラカルト..... 9
- 支援団体活動レポート..... 9
- インフォメーション..... 10



## TOPICS 1

### 県内中小企業の経営状況等について懇談

～野見山浩平日本銀行秋田支店長が来会～

8月31日(水)、日本銀行秋田支店の野見山浩平支店長等が本会を訪れ、本会藤澤正義会長ならびに伊藤邦夫専務理事と懇談を行いました。

なお、日本銀行秋田支店とは定期的に意見交換を行っており、今回の懇談は今年2月以来の開催となりました。

#### ■ 県内中小企業の経営状況

##### ○売上・収益、資金繰りの動向

非製造業のDI値が、全国や東北・北海道地区と比較し大幅に下回っている。その改善を図るためには、海外からの観光客を含めた「インバウンド需要」を如何に取り込むかが鍵となる。

##### ○年初来の為替円高の影響

本会の中小企業景況調査員を対象とした円高影響調査結果によると、大多数の企業は、「影響は無い」と回答している。しかし、円高・円安いずれの場合であっても、様々な業種で影響を受けるため、日頃から経営におけるリスク対策を怠らないことが重要である。

#### ■ 県内中小企業の雇用・賃金動向

最低賃金については、これまでにない大幅な引き上げであり、影響は大きい。

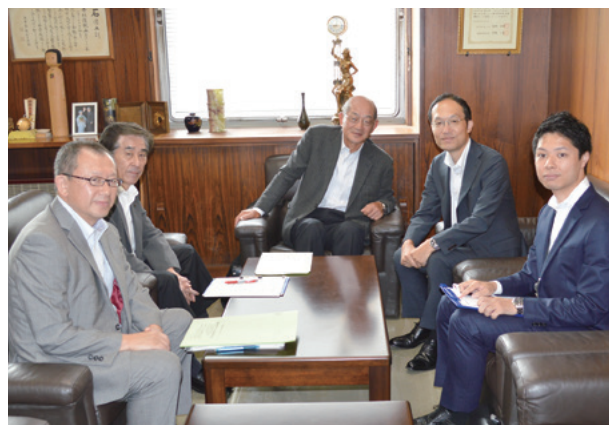
このため、個々の企業においては、生産性向上等を図るなど経営体質の強化を今まで以上に推進することにより対応することが求められる。

#### ■ 「ものづくり補助金」の活用状況

県内の設備投資も若干だが増加基調にある中で、本会が秋田県地域事務局となり実施している「ものづくり補助金」については、金融機関も認定支援機関となり、利用する中小企業の掘り起こしを進めている。

一方、県内企業は、経営者の高齢化や廃業の増加が危惧され、今後の先行きが不透明なこともあり、大規模な設備投資には些か消極的である。

「ものづくり補助金」も今年度で4年目を迎え、これまで当補助金を活用し設備投資を行った企業では、成果が着実に現れている。当補助金による資金効果は非常に大きく、投資計画を増額し生産力をアップすることで企業間競争に打ち勝っている企業も見受けられる。今後も、長期的な視野から同補助金を出来れば恒常的な制度とし、中小企業のバックアップを行うべく、国に要望していきたい。



[懇談の様子  
(右奥：野見山支店長／中央：藤澤会長)]

なお、日銀秋田支店とは今後も意見交換の場を設けることにより、県内中小企業の動向認識を共有していくこととしています。